

令和8年度 教 育 計 画 西予市立大野ヶ原小学校						学校番号	052
校長名	古和田 圭司	学級数	3	児童数	9	教職員数	5

大野ヶ原小学校では

大野ヶ原を愛し、地域とともに伸びる児童

校 訓 (目指す児童像)

を育てます。

やさしく

相手の気持ちを理解し、
思いやりのある子

かしこく

自分から進んで考え、正
しく判断できる子

たくましく

進んで人と交わり、心と
体を鍛える子

気付き・考え・実行する

豊かな心

「徳」

相手を意識したまご
ころのこもった言動



確かな学力

「知」

学習習慣・規律の確
立と読書活動の充実



健やかな体

「体」

自然とふれあい、自
分の可能性に挑戦する



～感謝を感動に変えて～



地域とともにある学校
「行きたい学校」

連 携
協 力



**学校運営協議会
〈大野ヶ原だからこそできる教育〉**

連 携
協 力



- 命を大切にする教育
- 自己肯定感を高める教育
- 地域を愛する教育

安らげる家庭

- 心と体の安らぎの場
- 基本的生活習慣を育てる場

学校支援ボランティア

連携・協力

「誇りに思う」地域

- ふるさとの温もりを感じる場
- 豊かな体験と交流の場

重点目標	【重点目標】 1 「チーム大野ヶ原」を合言葉に組織力を固め、ICTを効果的に活用した若手教職員の資質・指導力の向上を図り、地域に信頼され愛される、活力ある学校づくりを推進する。 2 保護者・地域住民と連携を図り、大野ヶ原の地域や児童の実態を踏まえた「大野ヶ原だからこそできる」地域に根ざした特色ある教育を推進する。 【努力事項】 1 学習指導 (1) 特別支援教育の研究を進め、児童一人一人の特性に応じたきめ細かな指導により「分かる、できる」という経験を積み重ねることにより自己肯定感を高め、学習意欲と学力の向上に努める。 (2) 複式指導の研究に努め、1人1台端末の効果的な活用を図り、読むこと・書くことを中心とした基礎基本の定着、「個別最適な学び」と対話や伝え合う力を重視した「協働的な学び」を充実させる。 2 生徒指導、健康安全指導 (1) 青少年赤十字の態度目標「気付き・考え・実行する」を基盤に、実践力を高め、「自分たちの学校を自分たちがよくしようとする」児童を育てる。 (2) 危機管理意識の高い組織づくりを行い、安全な環境づくりに努める。 3 道徳教育、人権・同和教育 (1) 「正直・誠実」「友情・信頼」を重点項目として道徳教育を推進し、相手のことを思いやる温かい人間関係づくりに努める。 (2) 差別の現実に関わり、全ての教育活動を通して人権尊重の精神を育成し、「差別をしない」「差別を許さない」「差別に負けない」児童を育成する。 4 保護者・地域住民との連携 (1) 地域の行事に積極的に参加し、地域とのつながりを深め、地域との信頼関係づくりに努めるとともに、積極的に情報を発信する。 (2) 学校運営協議会を中心として、地域づくり活動センターや地域住民、保護者等の協力、支援を得ながら、地域総ぐるみで児童の健全育成に努める。
管理運営	1 人的管理 (1) ワーク・ライフ・バランスを常に念頭に置き、心身ともに健康で働きやすく、明るい職場になるよう、「風通しの良い職場」を確立するとともに、報告・連絡・相談の徹底を図る。 (2) 「人を先に私を後に」の精神のもと組織的な対応に努めることにより、効果的・効率的な業務への改善に努める。 (3) 服務規律の遵守と信用を保持し、交通違反・交通事故や体罰・わいせつ行為、パワーハラスメント・セクシャルハラスメント等を根絶する。 2 物的管理 (1) 大野ヶ原の気候や自然を考慮し、季節に応じた学習環境づくりに努める。 (2) 施設・設備等の日々の点検と保全整備、巡視の励行や情報交換を行い、環境美化と整備に努めるとともに、潜在的な危険への対応を図る。 3 事務管理 (1) 校務分掌を十分に自覚し、迅速で的確な遂行を目指す。 (2) 諸帳簿・諸会計・個人情報等の適切な処理及び取扱いと、安全な保管に努める。
本校教育の特色	1 地域力を最大限に生かした教育活動の推進 地域の人材を活用し、ジオパークや地域の特産物を生かした体験学習を通して、大野ヶ原の自然を守り、自然を大切にする「大野ヶ原を愛する児童」を育成する。 2 他校との交流 町内小学校との交流をはじめ、他地域校・幼稚園等との交流を通して、自分を表現し、相手を知り、つながりを深め、人と関わる力を育てる。